

令和8年度

試験名:推薦入試

【人間学群 教育学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
小論文	<p>I. 出題意図</p> <p>本問題は、OECD (2023) Equity and Inclusion in Education: Finding Strength through Diversity, OECD Publishing の一部を抜粋したものである。日本語訳として、『公正と包摂をめざす教育—OECD「多様性の持つ強み」プロジェクト報告書』(佐藤仁／伊藤亜希子監訳)が2024年に明石書店から出版されている。</p> <p>多様な背景やニーズをもつ子どもの学びや育ちを学校でどのように支え、公教育における公正と包摂を実現していくかは、世界的に重要な課題である。日本でも障害をもつ子ども、外国籍や外国ルーツの子ども、日本語の支援が必要な子ども、不登校の子ども、ギフテッドの子どもなど、様々な子どものニーズにどのように応え、一人ひとりの学力やウェルビーイングを保障していくかは大きな課題となっている。こうした中で本文献は、「公正(equity)」と「包摂(inclusion)」を鍵概念としながら、公教育システムが多様性にどう応答していくか、幅広い国や地域の動向や研究知見をもとにまとめており、示唆に富む。出題箇所は、中でも「教師」に焦点づけながらも多角的に論じているものとなっている。</p> <p>問題文は、教育(学)に関する専門的な語彙も散見されるものの、全体としてはおおむね平易かつ論理的に書かれた文章であり、本学類生に求められる英文読解力を受験生が有しているかどうかを判断するうえで適切な文章と判断できる。文章の内容を的確に理解できると同時に、公教育における包摂や公正をめぐる課題について考えることができるかを問い、受験生の学力や教育への基礎的関心を確認することが出題の意図である。問4は、問題文で提示されている内容を参考にしながら各自が論点を設定して考察することを求めており、それを通して、受験生の論理的思考力と文章表現力をみるものである。</p> <p>II. 解答例</p> <p>問1</p> <p>[解答例]</p> <p>児童生徒のニーズを把握し、それに応えることができる教師の能力を育成することは、教育における公正と包摂を推し進めるうえで、重要な政策的手段として認識されている。これには、教員養成プログラムに、公正で包摂的な教育のための能力と知識能力を組み込むだけでなく、質の高い専門職の学習や協働の機会を保障することを通じて、教師が自らの知識を更新し深められるようにすることも含まれる。</p> <p>問2</p> <p>[解答例①]</p> <p>自分が教えるコミュニティの歴史的、社会的、文化的背景に関する知識をもち、理解することが、先住民の児童生徒を教えるにあたって、先住民の言語に関する知識とともに教師の専門性の開発の重要な分野であるとされている。</p> <p>[解答例②]</p> <p>アメリカの研究において、白人教師が黒人の児童生徒の主要な文化にどの程度対応し、価値を置いているかが、児童生徒の学業的な成功の重要な要因になりうることを示唆されている。</p> <p>[解答例③]</p> <p>スペイン語やスペイン系の文化的知識との関係で、教師が報告した文化的に対応した教育の行動は、アメリカのラテン系の児童生徒の読解の成果に有意で正の相関関係がある。</p>

小論文

問 3

[解答例]

差異化された指導 (differentiated learning) とは、教室にいる児童生徒一人ひとりの学習機会を最大化するために、いくつかの異なる学習経験を提供し、児童生徒の多様なニーズに積極的に対応する指導のアプローチのことである。こうした指導を行うには、教師が児童生徒の異なる学習能力を認識し、アプローチを柔軟にし、異なる学習者のニーズや特性に合わせて情報の提供方法を調整するような技能が求められると考えられる。

問 4